

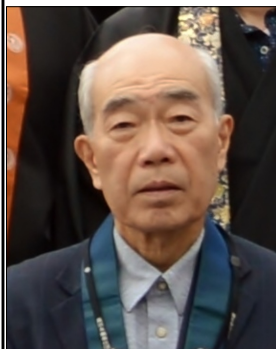
あゆみ通信

VOL. 177

あゆみの会(真宗大谷
派大阪教区第2組同朋
の会推進員連絡協議会)
会 長 細川 克彦
広 報 本持 喜康

新年のご挨拶

会長 細川 克彦



あけましておめでとうございます。「あゆみの会」が発足して15年となります。

大阪教区第2組において、2008年に第2期推進員養成講座(現同朋の会推進講座)を修了された皆さまが、い寄せられまして、このまま解散してしまうのは惜しい、同窓会のつもりで「第2組推進員連絡協議会」を作ろうと相談され、「あゆみの会」と、命名されました。

以後、年4回の聞法会を開かれ、日帰りで親鸞聖人ゆかりの旧跡へ出かけたこともありまして。

孤独に道を求めるのではなく、「あゆみの会」の皆様と共に道を求めることは、何にもまして大いなる喜びとなりました。

推進員の足元とはお手次寺の同朋の会でありますが、「あゆみの会」でさらに推進員同士が広いつながりで出会うことはさらに喜ばしいことではないでしょうか。

これからも「あゆみの会」を充実してまいりたいと念願しております。今年もよろしく願い申し上げます。合掌。



15年目の総会開催



2023年12月17日(日)午後1時30分から、阿倍野区の即應寺(藤井真隆住職)をお借りして、あゆみの会総会を開催し、14名の会員が顔を合わせました。

くしくも、2008年12月、第2組に無かった組推協が、この即應寺で「あゆみの会」として誕生して、15回目当たる総会でした。第2組からは墨林浩組長



(光照寺)と、池田英二郎副組長(宗恩寺)が参加して

大推協通信

原稿募集

あなたの思いや願いを

大推協では、2024年4月発行の「大推協ニュース」の原稿を下記の通り募集しています。

記

テーマ 自由です

字数 800~1200字(400字詰原稿用紙2~3枚)増えても可

締切 2024年2月2日

謝礼 図書カード1000円

対象 推進員、門徒、住職

原稿送り先

〒543-0053 大阪市天王寺区北

河堀町2-22 細川克彦宛て

FAX 06-6779-5349

e-mail

hosokawa8791@outlook.jp

親鸞のことば

上も下もない関係をつくる

親鸞は弟子一人ももたずそうろう(「歎異抄」)

親鸞は、誰の弟子、どこの門徒などと言う争いを、けしからんことだとして、すべての人が阿弥陀さまによって等しく救われることを強調しました。門徒の関係は親鸞自身も含めて対等なのだ、繰り返し述べています。等しく全員が救われるのだから、「私はさとりを得られるだろうか」「位の高いあの人の方が救いに近いに違いない」などと、不安や妬みを感じずに信頼しあうことが出来る。そこには上下関係も身分も超えた平等の大地が開かれているのです。(名古屋別院監修「人生を照らす親鸞の言葉」より)

あけましておめでとうございます

2024年が開けました。昨年一年間、「あゆみ通信」を出すことが出来ました。聞法会の法話の要約を手がけてくださった細川さんをはじめ、皆さんのお力添えのお陰です。ありがとうございました。あゆみの会は、基本、養成講座を終えて、本山の御影堂で、宗祖親鸞聖人の前で共に仏弟子になることを宣言したお仲間です。一貫して「共に歩む」を旨として、これまで活動してきました。だから、事情があつて、参加出来なくなつても、少しでも教えを共にする為に機関誌として「あゆみ通信」を編集してきました。今後もその趣旨は変わりませんので、ご理解ください。限られた紙面で、多くは掲載できませんが、いろいろなことに挑戦できたと思っています。まずは、先日会員さんから、眼が悪くなって細かい字の紙面が読めない。と聞きました。自身も同じですので、読んでいただけるように手始めに、字のポイントを上げてみました。よろしくです。合掌。(本)



いただきました。事務局・本持の進

行で、真宗宗歌で開会。続いて細川克彦会長(佛足寺)と、墨林組長から開会の挨拶をいただきました。

そして、参加者14名と委任状14名を合わせ、総会が成立していることが確認されました。

早速議事に入り、まず吉田雄彦副会長(法山寺)から、2023年事業報告と2024年事業計画案が提案され、承認されました。また、組長から2024年に予定している第2組の仏事について紹介いただきました。

続いて本持会計(即應寺)から会計報告と予算案が、細川孝子監査委員(佛足寺)から監査報告が行われ、承認されました。

つぎに、役員の改選に入り、役員会で検討した事務局案の提案について了解をいただいて、役員を紹介し、全員の承認をいただきました。

そして、新役員(別項)を代表して細川会長から、引き続き第2組寺院の興隆と共に一層の仏法聴聞に勤めたいの挨拶をいただ

き、議事はすべて終了しました。

休憩後、記念法話として、即應寺前住職の藤井善隆先生から、講題「真宗門徒の念仏生活2」と題してお話をいただきました。ちなみに藤井先生



は、発足間もない我々が、右も左も分からないところを、当時宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要お待ち受けの一環として、難波別院から出版された「まんが親鸞聖人」をテキストに、聖人のご生涯と浄土真宗の教えについて、手取り足取りして教えていただいた、有り難く、懐かしい思い出があります。

また、今回の講題は、202



0年12月のあゆみの会総会で、先生に出講いただいた際の講題であり、15年にちなみ、引き続きお聞きする

ことにしたものです。

先生は冒頭、15年を共に歩み続けてきた私たちをねぎらい、励ましていただきました。その上で、その歩みを促し続ける大

きな力が働いていることを、聞法と言う形で確認できることが大事だと。そして、最初は生活の中で聞法が始まるが、それが聞法の中での生活するようになっていくと話されました。そして、そんな私たちが陥りやすい懈慢界

大推協通信

真宗本廟奉仕団

大推協主催で、以下の通り、真宗本廟奉仕団が行われます。

(目的) 日常生活において、何か空しさを感じたり、将来に不安を感じたりと言うことが無いでしょうか。また、聞法しているのだけれど、何かもう一つ、はっきりしないと言う悩みはないでしょうか。

大推協では、本廟奉仕団を1泊2日で行い、講師のお話を聞き、皆さんと話し合ってみませんか。ご参加をお待ちします。

記

日程 2024年3月11日(月) ~12日(火) 1泊2日

詳細(詳細は別項細川まで)

集合時間 3月11日10:30

集合場所 和敬堂1階ロビー(阿彌陀堂左側を進み、突き当り)

解散 3月12日14:30 現地解散

参加費 8,000円(大人)

米800円または米1.2Kg

(8合)

募集人員 10名程度

申込期日 2024年2月2日(金)

申込先(問合せ) 細川 克彦

電話 06-6779-5349

(携帯) 090-1222-1988

e-mail hosokawa8791@outlook.jp

FAX 06-6779-5349

〒543-0053

大阪市天王寺区北河堀町2-22

について丁寧に話されました。

そして、16年目から、みなさんは聞法の座について、自分と言うものを、生活を大事にしてもらいたい。「うまいこといかん」、「思い通りにならん」、「腹が立つ」とか、「嫌やな」と思うことが大事です。それを抜きにして南無阿彌陀仏ははたらかない。何かのご縁で、お念仏の法則は伝わるようになっていきます、と話されました。

終わりに、恩徳讃を皆さんで斉唱して総会を終わりました。

あゆみの会新役員体制(2024~2026) 敬称略

会長	細川 克彦(佛足寺)	再任
副会長	吉田 雄彦(法山寺)	再任
副会長	本持 喜康(即應寺)	再任
相談役	中嶋ひろみ(光照寺)	再任
相談役	浪花 博(法山寺)	再任
会計	本持 喜康(即應寺)	兼務
監査委員	長野 敏夫(宗恩寺)	再任
監査委員	細川 孝子(佛足寺)	再任
常任委員	宮澤 典男(即應寺)	再任
常任委員	遠藤佑宜子(浄宗寺)	再任
常任委員	川上 喜生(法山寺)	新任
常任委員	正木 秀子(宗恩寺)	新任